

たまかわ

1998

12

No.388

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



力走

ふくしま駅伝第13区(二本松市役所前〜松陵中学校前)を力強く走る深谷 亮さん(川辺・学法石川高校2年)。区間10.5kmを34分8秒で走り抜き、区間総合12位、村の部2位の好成績を上げました。(写真中央)

第10回 市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大会

福島県庁前



第15区 高林浅隆選手

第15区 高林浅隆選手(中) — 泉中3年 — 8.8km	第14区 鈴木文子選手(南須釜) — 清陵情報高3年 — 3.8km	第13区 深谷亮選手(川辺) — 学法石川高2年 — 10.5km	第12区 渡部美弘選手(中) — 福島県消防防災航空センター — 10.8km	第11区 小針正光選手(北須釜) — 東京精工(株) — 8.9km	第10区 小針実紀選手(中) — 泉中3年 — 3.1km	第9区 郡山総合体育館前 — 泉中3年 — 5.2km	第8区 溝井英樹選手(南須釜) — 須釜中3年 — 6.4km	第7区 塩澤和彦選手(南須釜) — 自営 — 8.1km	第6区 須賀川市役所前 — 須賀川高1年 — 6.4km	第5区 大竹邦光選手(岩法寺) — 須賀川高1年 — 7.3km	第4区 矢吹町役場前 — 郡山水産 — 8.8km	第3区 関根勝夫選手(北須釜) — 日大東北高2年 — 8.6km	第2区 泉崎村役場前 — 泉中3年 — 3.3km	第1区 白河総合運動公園入口 — 学法石川高2年 — 3.9km
--	---	--	--	---	--	--------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	---	------------------------------------	--	------------------------------------	---



第1区 高橋由美子選手

スタート
白河総合運動公園

「チームのために一生懸命頑張ったけど、順位に納得いかなかった。完走したのでとても良かったです。応援どうもありがとうございました」



第14区 鈴木文子選手

「精一杯走りましたが、練習不足だったため、後半が思うように走れませんでした。今日まで、ご指導、応援してくださった方々には大変お世話になりました。ありがとうございました」

「自分の子供と同じ年頃の選手たちとの練習も楽しく、今日のレースは練習の成果も出て自分なりに結果を出せたと思っています。どうもありがとうございました」

「風の強い悪コンディションの中、各選手はタスキを繋ぐことに集中した力走を展開しました。その結果、総合五十二位、村の部十一位とどちらも歴代二番目に良い成績を収めました」

選手健闘！
総合 五十二位
村の部 十一位

第十回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は、十一月二十二日午前八時に県内八十八市町村の選手が白河総合運動公園陸上競技場を一斉にスタートして、福島県守前までの一〇二・九km十五区で行われ



第2区 深谷明日香選手(手前)

「トラックでは前に出るのが難しかったけど、道路に出るからは応援のお陰で気持ちが引き締まり、自分のリズムで走ることができました。タスキを渡すときもスムーズにいきました。納得のいくレースができたと思います。最後に付添いに来てくれた皆さんに感謝いたします」

「今年も13区を任せられ、昨年の走りを思い出しながら2回の試走に参加しました。その中である程度の手応えを感じましたので目標を大きく持って臨みました。楽しむことができて良かったです」



第13区 深谷亮選手(右端)



第12区 渡部美弘選手(右)



第10区 小針実紀選手

「一生懸命走ることができたので良かったです。でも、タイムがすごく遅かったのがちょっと残念です。今までのいろいろありがとうございました。とても良い思い出ができました」



第11区 小針正光選手(左)

「目標タイムより良いタイムで走れたので良かったです。いろいろとお世話様になりました。来年も頑張りたいと思います」



第9区 国井康博選手

「力の限り全力で、死ぬ思いで走り続けました」



第8区 溝井英樹選手(左から3人目)

「今回、初めて駅伝を走りました。タスキは繋がらなかつたけれど、風の強い中、頑張って走りました。今回の経験を生かして今後も頑張りたいと思います」



第3区 鈴木悟選手(中央)

「タスキを受けてオーバーペースで入ってしまった。後半バテたせいで抜かれてしまいました。自分のペースをつかめきれないで終わってしまいました。まだまだ自分の力不足です。来年はもっと良い走りがしたいと思います」

「今年は中学最後の大会で悔いの残らないように精一杯頑張ろうとスタートラインに着きました。だけど練習不足のせいか思うように走れず後悔しました。来年は一般区間を走ることになると思うけど、自覚をもって頑張りたいです。」



第4区 関根勝夫選手

「練習は足りていませんでしたがタスキを繋ぐことができたので良かったと思います」

「あと少しのところまでタスキを繋ぐことが出来ず(繰り上げスタート)悔いが残ります。寒い中、沿道で応援してくださった皆様ありがとうございました」



第7区 塩澤和彦選手



第6区 大越強選手

「タスキを渡すことができたので良かったです。これからも福島駅伝に出場したことをバネにしているいろいろ挑戦していきたいです」



第5区 大竹邦光選手

「風が思ったより強かったので余り速く走れませんでした。でもタスキを繋げられたので良かったです。これからも今回のことを生かして頑張りたいと思います」



ゴール後に県庁前で選手と役員の写真

選手の皆様へ

「お疲れさまでした」

選手団解団式を開く

ゴールの福島県庁前から戻った選手団、役員など関係者は、午後5時30分から村民体育館で村選手団解団式に臨みました。

式では、大会本部長の車田村長から選手一人ひとりに出場記念のメダルが贈られました。車田本部長から「監督、コーチの指導のもと、選手の皆さんの練習の成果が実を結んで良い成績が得られたと思います。また沿道での村民の

皆さんの応援に厚く御礼を申し上げます」とあいさつされました。

また、渡辺助次郎実行委員長、高林浅男議長、矢部美枝子教育委員長職務代理者からそれぞれあいさつが行われ選手の皆さんの激走の労をねぎらいました。

解団式終了後に村就業改善センターに場所を移して、選手の皆さんを囲むでの会食懇談会が行われました。なお、

鈴木選手無念の欠場

本村チームのエース鈴木篤選手(竜崎)が前日の練習中に肉離れを起こして出場ができなくなるというアクシデントがありました。

急遽、控えの高林浅隆選手(中・泉中3年生)が最終区を走ることになり、重圧に負けることなく、立派に責任を果たす力走を見せました。



特別表彰を受ける鈴木篤さん

特別表彰を行う

玉川村の代表として5年間連続して出場した競技者の日頃の努力と精進を讃えて、村では本年度から表彰することになりました。

表彰された選手の皆さんは次のとおりでした。

- 鈴木 篤(竜崎)〔3~7回〕
- 草野敏史(岩法寺)〔4~8回〕
- 関根勝夫(北須釜)〔6~10回〕
- 鈴木文子(南須釜)〔6~10回〕
- 高橋由美子(川辺)〔6~10回〕

(以上敬称略)

福島県海外派遣事業

『若人の翼』参加レポート(下)



小高 車田 信彦さん

前月号に引き続き車田信彦さん(小高)の県海外派遣事業『若人の翼』の参加レポートを紹介します。

ブラジルの

「福祉と環境」を研修

全行程の7割を過ごしたブラジルでは、主に福祉と環境について研修、視察を行いました。

まず、私たちはサンパウロで県人会の方々にお世話になり、ホームステイを2日間体験しました。私は、県人会会長の大山さんのご自宅にお世話になり、ブラジルの現状や日系人の現地での活躍ぶり、日本とのつながりなどについてご教示をいただきました。大山さんは船引町出身、奥様は北塩原村出身の方で、大変親切にしてください、ブラジルにいたことを忘れてしまうような日本の雰囲気の中、2日間を過ごさせてください

ました。ただ、ひとつ問題提起をいただき、この事業も25年を経て単なる交流ではなく、日本とブラジルの架け橋になれるような人材が育って欲しいということ、交流から一歩進んだ段階が求められている事を感じ、今後のいろんな場面での交流の在り方について考えさせられました。

また、サンパウロでは班別の研修課題に沿って、福祉施設の訪問等を行いました。サンパウロ市郊外にある「こども園」は、日系人の経営する精神薄弱児収容施設で、機能回復訓練や職業指導教育、生活指導教育などを行うブラジル初の全寮制施設でありま



ホームステイでお世話になった大山さんご夫妻と私

した。ブラジルへ飛び立つ前に私たちは、事前研修で福島市内の福祉施設において体験実習をさせていただいており、ボランティアを含めてその運営の難しさを認識していたつもりでありましたが、現地でも国の政策を含めた環境整備が十分でなく、運営面では大変ご苦労をされているようでありました。また、丁度訪問した時に日本から、それも福

市立環境局の訪問等を中心に視察を行いました。ベレンは川に囲まれた都市で、当然のごとく水質問題、車の排ガス問題、そしてこの地域特有の騒音(特に音楽などの文化的問題)問題が取り上げられていました。市立環境局のような本格的に環境問題を調査、研究する機関が始まったばかりで、過去の実績などの具体的な数字などは確立されてい

ませんが、こういう機関がひとつの核となり、徐々に人々の気持ちの中に広がっていくことでしょう。しかしながら環境にも悪影響を与えていると言われる「焼畑農業」など、今までの手法を変えなければならぬことは、かなりの時間と労力を要すること、一朝一夕には改善されないと思います。

最後に、今回の研修を通してお世話になった村はじめ県の関係者、現地の方々に厚く御礼を申し上げます。ご報告とさせていただきます。



ベレン市立環境局にて職員の方々と

アンナ先生の 英会話講座 スタート

11/18

村公民館主催の英会話講座が開講しました。村英語指導助手のアンナ・タペレル先生が指導者となって行われる当講座には、老若男女21名の生徒が受講して、来年7月まで週1回の授業が行われます。



トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—

役場総務課広報広聴係まで



あぶくま石川農業協同組合主催による第一回J.Aあぶくま石川カップは、石川郡内の小学生で構成された12チームが参加して石川町クリスタルパークで行われました。

第一回J.Aあぶくま石川カップ 玉川FC三位

11/1



村長杯ゴルフコンペ チャリティ募金を 社協へ

11/6

玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会(大木美委員長)では、11月5日に行われた第12回村長杯ゴルフコンペの際のチャリティ募金での益金11万円を村社会福祉協議会に贈りました。

お仕事ご苦労様です

保育所児童事業所 を訪問

11/20

勤労感謝の行事学習として泉保育所の全児童が玉川郵便局を訪れ、局職員の方にシクラメンの花を贈って労をねぎらいました。

また、玉川駐屯所と泉郷駅、村役場なども訪問しました。



玉川郵便局で花をプレゼント

熊田教授 思い出の川辺小で 退官記念授業

前東京玉川会会長で東京家政大学の熊田藤作教授(川辺出身・画家)は、このたび自身の母校であり、また教育者としての出発点となった川辺小学校で授業を行いました。

熊田先生は来年3月で大学を退官することになり、その記念授業となりました。1〜2年生40名を相手に切り絵の授業は、ユーモアあふれる内容で子供たちも楽しく学んでいました。



10/20



JALの中島氏を講師に 福島空港を学ぶ

10/30

はばたけ21夢飛行(大八木健治会長)では、このほど役員及び関係者を対象に福島空港の現状や将来についての講演会を村就業改善センターで開きました。

講師に日本航空成田支店長代理VIP担当の中島巖氏を招いて行われ、空港の国際化などの問題について学びました。

第五回石川地方交通安全大会

会は、古殿町民第一体育館を会場に開かれました。大会には、石川郡内から関係者約四〇〇名が出席し、交通安全功労者の表彰や管内の交通状況などの情勢が紹介されました。

また、アトラクションでは、各町村ごとに反射材を使った服装を制作して「キラキラファッションショー」が行われ熱演していました。

第五回石川地方交通安全大会 キラキラファッションショーに熱演 交通安全を願う



ポトピア玉川 バス2台を村へ寄贈

10月14日に本村岩法寺にオーブンしたポトピア玉川(小野里金蔵社長から、オーブンを記念して本村にバス2台が寄贈されました。

贈呈式は、11月26日に役場玄関前駐車場で行われ、ポトピア玉川の設置者である(株)エムビー玉川から小野里征雄取締役支配人と須田満志取締役が出席され、小野里支配人



テレビ局の取材を受ける本村月の会の石井ウメ子さん

教育委員に 矢部さん再任

任期満了による教育委員の任命について、11月24日に臨時議会が開かれ、矢部美枝子さん(写真48歳・川辺)に再任の同意が得られました。

矢部さんの任期は、平成14年11月23日までの4年間となります。



から車田村長にバスの記念キーが手渡されました。

小野里支配人から「念願のポトピア玉川を開設することが出来たことを契機に村に何か記念になるものと考え、今回、バスを贈呈させていただきました。」とあいさつされました。

バスは、29名乗りと47名乗りの2台で、村で管理のうえ利活用が図られることとなります。

第3回 よい歯の コンクール

平成10年度第3回「よい歯のコンクール」の表彰式は、10月23日(金)に村保健センターで行われ、次の11名の子どもたちが表彰されました。



～玉川第一小学校の児童マラソン大会より～

経費老人ホームが浅川町に開所

ケアハウス・やすらぎ荘

「ケアハウスって何?」と質問の問い合わせがありますが、「ケアハウス」とは簡単に言うと『食事付きアパート式住宅』のことです。具体的には、どんな所で、どのようなサービスが受けることができるものなのかをご紹介します。

自立生活の様々な不安を解消して安心して暮らせる住まい



◆入居対象

60歳以上の高齢者で身体機能の低下等により自立生活が不安な方。夫婦での入居も可能です。

◆サービス内容

(食事) 高齢者の方に適した毎日の食事を提供
(風呂) 男女別の準天然温泉(夜間) 24時間体制で入居者の緊急時に対応
(暮らし) 普段の生活について相談に応じます。

◆利用料金

基本利用料は、生活費、事務費、管理費の合計額です。

基本利用料	
生活費	42,840円
事務費	10,000円～81,100円
管理費	10,000円
合計	62,840円～113,940円

(管内・単身入居の場合)

- 事務費は、入居者の収入に応じて区分されます。
- 個人の居室内の光熱費及び電話料は個人負担です。
- ◆問い合わせ先
浅川町大字浅川字背戸谷地177-6
ケアハウスやすらぎ荘
☎36-11166

募集 泉保育所入所児

次の要領で入所児童を募集します。

- ◆募集人数 四一名
- ◆申込機関 平成11年1月5日から1月25日まで
- ◆対象児童 平成5年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた児童で家庭での保育ができない場合

募集 幼稚園入園児

次の要領で村立幼稚園の入園児童を募集します。

- ◆対象児童 (いずみ幼稚園)
- 平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた幼児(すま幼稚園)
- 平成5年4月2日～平成7年4月1日までに生まれた幼児

◆募集定員 (いずみ幼稚園) 一〇〇名 (すま幼稚園) 一〇〇名

◆申込期間

平成11年1月11日から平成11年1月22日まで

◆申込場所・両幼稚園で受付します。なお入園願書は両幼稚園に備え付けてあります。

◆問い合わせ先

村教育委員会 ☎57-4633

製造事業所の皆様へ
統計調査に御協力ください

12月31日現在で、次の統計調査が同時に行われます。

- ◆平成10年工業統計調査—製造事業所の実態を調査
- ◆平成10年石油など消費構造統計調査—従業員30人以上の製造事業所の石油などの消費実態を調査

本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字等の正確なご記入をお願いします。

通商産業省・福島県・玉川村



伝言板



平成10年互礼会より

新年互礼会開催のお知らせ

玉川村の新年互礼会は、次の日程により開催いたします。
なお、参加を希望される方は、事前に参加申込を忘れずにしてください。

- ◆日時 平成11年1月4日(月) 午後2時
- ◆場所 マーヴェラス末広
- ◆会費 3,000円
- ◆申込方法 玉川村総務課 ☎(57)4621までお申込みください。
- ◆申込期限 12月16日(水)まで

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。(村社会福祉協議会)

- 横浜市の及川 元さん
- 吉の大和田 豊さん
- 吉の須釜富美夫さん
- 中の橋本甲市さん
- 竜崎の小林立美さん
- 小高の三輪和則さん
- 北須釜の鈴木 孝さん
- 川辺の矢吹一次さん
- 中の小針清志さん
- 川辺の佐藤為雄さん
- 中の双里政博さん
- 第12回玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会から 11万円

村のようす (10年12月1日現在)

- 1,775戸(-2)
- 7,620人(-8)
- 3,743人(-2)
- 3,877人(-6)

お誕生おめでとうございます (11月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	坂本 侑 莉	茂 明
岩法寺	草野 健	浩 志
〃	瀬谷 健人	幸 二
南須釜	小原 大 樹	久 典

おくやみ申し上げます (11月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川 辺	佐藤 トミ	92	晃
〃	矢吹 末	67	ヨ シ
小 高	三輪 和夫	65	貞 夫
〃	遠藤 長栄	42	長 栄
〃	橋本 鐵雄	75	甲 志
〃	小針 クニヨ	69	清 博
〃	双里 トシ子	76	政 美
〃	小林 トキ子	49	立 孝
竜 崎	鈴木 ミチ	86	トミ子
北須釜	大和田 菊房	70	富美夫
〃	須釜 タカノ	80	

今月の納税

- 固定資産税 第3期
 - 国民健康保険税 第6期
 - 国民年金保険料 12月分
- 【納期限は12月25日(金)です。忘れずに納めましょう!】

12月1月の健康ごよみ

- 12月
 - 17日(木) 機能訓練 保
 - 午前10時～ 要
 - 18日(金) 1歳6カ月児健診 保
 - 午後1時～ 要
 - 3・4カ月児健診 保
 - 午後1時30分～ 要
- 1月
 - 8日(金) 7・8カ月児健康相談 保
 - 午前10時～ 要
 - 13日(水) 股関節脱臼検診 石保
 - 午後1時30分～午後2時 要
 - 20日(水) 三種混合予防接種 須
 - 午後1時～ 要
 - 21日(木) 三種混合予防接種 保
 - 午後1時30分 要
 - 22日(金) 3歳児健診 保
 - 午後1時～ 要

保:保健センター 須:須釜公民館
石保:石川保健センター 要:受付時間

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

- 風立ちて萩の花むら波打れば秋の日差しの延びて来る丘
- 小針みね子
- 仏壇の側に掛けたる般若心経一間に放つ慈悲ある光
- 諏訪イセ子
- 耳遠くなりたる友が呟きぬ聞こえぬ方がいい日もありと
- 吉田 沙代
- 台風の造りし庭の水溜りトンボがすいとくかすめて遊ぶ
- 柳沼 ツヤ
- コスモスの咲けば秋よと云う如くその下に鳴く鈴虫の声
- 登那木きみ

私のふるさと

— 岩手県花巻市 —

多田 光雄さん(岩法寺)



私のふるさととは、岩手県花巻市です。花巻は、県のほぼ中央に位置しており、高速道路のインターチェンジが2ヶ所、新幹線の駅、花巻空港が立地する交通要所として近年大きな発展を遂げてきております。

岩手の気候は福島と似ており花巻はちょうど本県の中通り地方と同じような感じですが、雪の量もさほど多くありませんが、ただ気温はかなり低くなります。花巻は、この地名のとおり桜やバラ、ポタンの花々で彩られる美しい街です。

市の西部の奥羽山脈のふもとには温泉が豊富で、花巻温泉や志士平温泉など12の温泉郷があり観光客で賑わっています。毎年9月に行われる『花巻まつり』は、四〇〇年の伝統をもつもので数十台の風流山車が街に繰り出す市民総出の壮大なまつりです。花巻出身の有名人といえば、なんとと言っても宮沢賢治です。市内には、記念館やイーハトーブ館などがあって賢治にまつわる資料などが展示されています。方言は、これと言って思い浮かびませんが、固有名詞のあとに「こ」を付けるのが特徴です。

※先月の答え「大きくなる」



シリーズ 今日の食卓 ㊦

今月のお題は

「この冬を乗り切るために」

12月2日(水)に開催された

『いきいき教室』の中で県漁協婦人部の皆さんより紹介された魚料理を今月号と来月号、1品ずつ紹介します。今回、紹介する魚料理については、各地区で開催する『いきいき教室』でもご紹介しますので、是非参加してください。

今月の献立

「さんまのマリネ」

— 材料(4人分) — 1人分437キロカロリー

- | | | |
|----------|-----------|--|
| ●さんま 4尾 | ドレッシング | |
| ●塩 少々 | ●サラダ油 大6 | |
| ●こしょう 少々 | ●酢 大6 | |
| ●小麦粉 適宜 | ●塩 小1 | |
| ●揚げ油 | ●さとう 小1 | |
| ●トマト 小1個 | ●しょうが汁 大1 | |
| ●玉ねぎ小1個 | ●こしょう 少々 | |
| ●ピクルス 1本 | ●化学調味料 少々 | |
| ●レモン1/2個 | | |
| ●パセリ少々 | | |

— 作り方 —

- ①さんまは3枚におろして食べやすい大きさに切り、塩・こしょうして、かるく水分を拭き取ってから小麦粉をまぶし、油で揚げます。
- ②トマトは湯むきし種を取ってあられ切り、玉ねぎはみじん切りにして塩でもみ、ピクルスはあられ切り、パセリはみじん切りにして水にさらしておきます。
- ③ドレッシングは白っぽくなるまでよく攪拌し、水分を切った野菜を混ぜ合わせ、揚げたさんまを漬け込みます。
- ④器に盛り付け、レモンを飾ります。



東京玉川会コーナー



心に残る 我がふるさと 『ふる里の思い出』

横浜市神奈川区
鈴木 新寿さん
(中出身・鈴木新造さんの弟)



平成10年8月1日、花火大会の田コンチネンタルホテルにて左から私、サンコンさん、妻

日増しに寒さが肌に強く感じる昨今ですが、玉川村の皆様、そして東京玉川会の会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。私が生まれたのは中区です。

私が生まれた頃は、どこの家でも兄弟が多かった時代でした。また、大した物資の無い時代でもあったので、私たちを育ててくれた両親の苦労が現在も私の脳裏を行き来しております。

学力のない私に、親が教えてくれた『我慢と辛抱』だけを頼りに集団就職で都会に出ました。その頃は、誰にも言えない苦労も沢山ありました。現在は独立して仕事をしており、両親と親方に感謝の念を忘れたことはありません。

私の趣味は民謡なので、唄うたびに『ふる里』が喉にうかびます。毎年、墓参りと観光を兼

ねて、春先のつつじ、秋の紅葉の頃に友達を誘って行きますが、誰もが一緒に「鈴木さんの田舎は環境が良くてとてもいいところですね」と喜んでくれるので、ふる里は私の自慢のひとつです。これも地元の皆様の大変な苦労と努力の賜物と感謝をしております。

私の仕事は家の中の仕事なので、いろいろな人の出入りが多いものです。ふる里の話は接客に欠かせないものとなっており、まだ一度も総会に出席できず大変申し訳ないと思っております。次回必ず出席できることをお約束いたします。

玉川村の皆様、そして東京玉川会の会員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。